

和歌山県白浜町で出現したモンシロチョウの矮小型 (鱗翅類, シロチョウ科)

久保田 信*・山本 道也**

Shin KUBOTA and Michiya YAMAMOTO: A dwarf form of *Pieris rapae crucivora* (Lepidoptera, Pieridae) occurring at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

八重山諸島の一部を除き日本全国に分布するモンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* BOISDUVAL (高橋ほか, 1973) で、これまで少数の報告例しかなされていない矮小型が、最近、和歌山県西牟婁郡白浜町臨海に位置する京都大学瀬戸臨海実験所構内から1個体採集された。発見は7月中旬の早朝6時50分で、高さ数十cmほどの草の上で休止していた。この個体を素手でつかんだ時、左翅の一部を傷めてしまった。採集直後に胸部を指で圧迫して死亡させ、すぐに翅を広げた写真を撮影した(図1)。発見時には両翅は全く傷んでおらず鱗粉も美しく、羽化後の日数があまり経過していない個体と推察された。その後、切手用の特製耐湿グラシン袋に入れて保存し、約半年後に体の各部を計測し、これまで報告されている矮小型の記録(採集地や季節型などの知見も含めて)とともに、表1にまとめた。本標本は和歌山県では初めて報告されるモンシロチョウの矮小型の例(的場・後藤, 私信)であり、和歌山県立自然博物館所蔵標本として保管

されている。

本標本を含む日本産モンシロチョウ矮小型の記録

これまでの日本各地で発見されたモンシロチョウの矮小型の報告は多くなく(表1)、北海道から宮崎県にかけて記録された少なくとも4個体での前翅長は17.5-21.6mm(井上, 1956; 永井, 1956; 志賀, 1969a, b; 西山, 1970)であることから、和歌山県白浜町産の本標本は、最小ではないものの、非常に小さい個体であった。

矮小型の発生の要因については、食料不足(井上, 1956)や、飼育観察をもとに推察した気象条件の関与(永井, 1956)、さらには高温による成長阻害(大島, 1987)などが挙げられているが、本個体の矮小の要因については不明である。

表1をみると矮小型に地域特性はなく、採集時期は7

表1 本標本を含み、日本各地で記録されたモンシロチョウの矮小型の種々の体部位の大きさの比較

Table 1. Size comparison of various body parts of dwarf form specimens of *Pieris rapae crucivora* recorded in Japan, including the present one.

前翅長(mm)	17.5	19	19.2	20.5	21.6
触角長(mm)	—	4*	9.1	—	—
体長(mm)	12.5	5*	14.5	14.3	15.0
性	雌	雄	雄	雌	雄
季節型	夏型	—	夏型	—	夏型
地域(県)	北海道	宮崎	和歌山	千葉県	千葉県
採集年月日	'70.8.1	—	'00.7.13	'69.9.22	'68.7.18
著者	西山	井上	本標本 ¹⁾	志賀	志賀
	1970	1956		1969b	1969a

* この測定値は誤植で、実際は10mmを加えた値が図からみて正しいであろう(この個体のみ斑紋が見られない)

¹⁾ 採集直後から約半年後の2001年1月27日に測定。

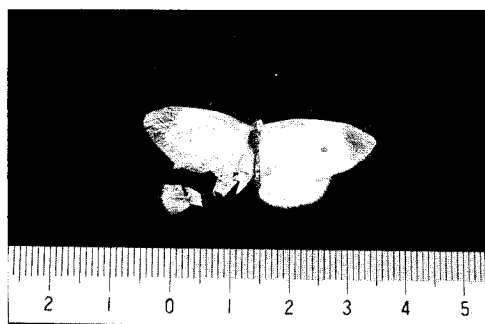


図1 和歌山県白浜町で採集されたモンシロチョウの矮小型(夏型の雄:採集直後に撮影)

Fig. 1. Photograph of dwarf form of *Pieris rapae crucivora* from Shirahama, Wakayama, Japan (Summer form male: photographed soon after collection).

* 京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所(〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町) Seto Marine Biological Laboratory, Graduate School of Science, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan

** 流通経済大学経済学部(〒301-8555 茨城県竜ヶ崎市平畑120) Faculty of Economics, Ryutsu-Keizai University, 120 Hirahata, Ryugasaki, Ibaraki 301-8555, Japan

- 9月の夏から秋にかけてとなっている。今後、全国で多数の矮小型個体が発見されれば、この傾向の確認がなされるであろう。一方、矮小型の発生機構を解明する研究なども待たれる。

謝 辞

和歌山県からモンシロチョウの矮小型の記録がなされていないことを御教示くださった後藤 伸氏と的場 績氏に感謝する。

引用文献

- 井上 隆. 1956: モンシロチョウの小型多数出現す. 新昆虫, 9(3), 50-51.
- 永井洋三. 1956: 小型のモンシロチョウの発生. 駿河の昆虫, (13), 353.
- 西山稚規. 1970: モンシロチョウの矮小型. 昆虫と自然, 5(10), 27.
- 大島良美. 1987: 季節によって違う翅の形と紋. *in* 久保快哉編, チョウの話Ⅱ. pp. 112-118, 技報堂出版, 東京.
- 志賀一朗. 1969a: モンシロチョウの矮小型. 昆虫と自然, 4(4), 21.
- . 1969b: 再びモンシロチョウの矮小型について. 昆虫と自然, 4(8), 34.
- 高橋 昭・田中 蕃・若林守男. 1973: カラー自然ガイド 日本の蝶Ⅰ. 151 pp. 保育社, 東京.